

地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月1日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	厚田区で実習メンバーと		
活動場所			
・石狩市役所 ・厚田産業 ・あいロード厚田 ・石狩北商工会			
活動内容（詳細）			
・お世話になる方々への挨拶回りやフィールドワーク			
活動・生活所感			
インターン初日は緊張と楽しさという2つの心を持ち新千歳の土地を降りた。その後、海鮮丼を食べバスに乗って市役所へと向かった。その際バスを乗り間違え途中で降りてタクシーを呼ぶという緊急事態にも見舞われたが無事に着くことが出来た。顔合わせは緊張したが、インターン生たちも明るく、いい人達ばかりですぐに仲良くなる事が出来た。市役所の方達も明るく優しく迎え入れていただけて安心した。 その後は車でお世話になる各所へ挨拶に出向いた。暖かく迎え入れてくださって、とても嬉しかった。ここで1ヶ月頑張っていけることに喜びを感じた。 景観がとても良く、ここで1ヶ月間生活できることが本当に嬉しく胸が躍っている。空気もとてもおいしい。山と海という自然のサンドイッチに挟まれて生きている。こんなに嬉しいことはない。 活動終わりはインターン生全員で自転車に乗って周辺を散策してみた。とても仲良くなる事が出来て嬉しい。1ヶ月間が楽しみである。 明日はジップラインで就労だ。1ヶ月頑張るぞ！！			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月2日（土）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～17:00 まで 厚田キャンプジップラインで		
活動場所			
厚田キャンプジップライン			
活動内容（詳細）			
・ジップラインの業務 ・ごみ拾い			
活動・生活所感			
自転車を漕いでキャンプ場まで行った。早朝に漕ぐ自転車はとても気持ちの良いものであった。早めに着きすぎてしまっていて少し待っていたが、そのときに、お客さんとお話しさせていただいた。施設への意見を聞くことができて大変貴重な時間であった。 職員の方が到着した後は、ジップラインのハーネスの付け方を教わり、ジップラインの動作確認を行った。結果的にはジップラインを体験した人数は1人であった。土曜日に泊まって日曜日にアクティビティをする人が多く日曜日の方が人が多い傾向にあるということを学んだ。 客足が少なかったため、地元出身の大学生バイトの方とレンタルモルックの貸し出しを促すために人目に付くところでモルックをした。他にもサッカーや筋トレをして交流を深めることが出来た。地元への思いや一次産業のお話が聞けてとてもありがたかった。			
			

地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月3日（日）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:30~15:30 みちの駅の一純に 1人で		
活動場所			
一純（そば屋さん）			
活動内容（詳細）			
・食器洗い ・そば粉練り上げ			
活動・生活所感			
自転車を漕ぎ坂道を上がって、道の駅へ向かった。着いてから着替えをして業務に取りかかった。最初の作業はダスターを濡らして全ての机に置いた。それが終わったらそば粉をこねて塊を何個か作った。その後は最後まで食器洗いをしていた。 途中の休憩で、にしんの蕎麦といくら丼をいただいた。今まで食べてきたいくらの中で1番美味しかった。にしんの甘露煮も甘くてとても美味しかった。 約6時間食器洗いを行った。本当に大人気店でずっと食器を洗い続けていた。とても疲れてしまった。キッチンの皆さんが代わるよと声をかけてくださってとてもありがたかった。しかし、任された仕事をこなしたいという思いがあり、最後までやり切った。みなさんから褒めていただいてとても嬉しかった。疲れたがやりがいはとてもあった。 その後は、昨日知り合った大学生の方に BBQ に招待していただいて BBQ をすることが出来た。とても楽しかった。星や花火も見ることが出来たのでとても充実した。畑から見る星は本当にきれいで一生忘れることの出来ない思			

い出になった。地域の方達と交流することが出来て嬉しかった。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 4 日（月）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	朝から厚田区内で市役所の方とインターン生と		
活動場所			
・厚田朝市 ・飛ぶ鳥農場 ・ありす cafe ・焼き肉おおむら ・厚田支所			
活動内容（詳細）			
・区内見学 ・インターン打ち合わせ			
活動・生活所感			
朝から宿の周辺を歩いて散策した。厚田朝市は 2 店舗しか開いていなかった。秋の鮭漁に向けて網を張っているから夏の平日は休みが多いらしい。その場で生食出来る物があつたらもっと賑わいそうだと考えた。子母沢寛という有名な小説家の出身地でもあるそうだ。また、厚田に来てから外国人を見かけなかったのだが、今日初めて外国人を見かけた。彼らはベトナムなどの国から漁師の技能実習でこの町に訪れているそうだ。周辺の知識について学びを深めることが出来た。 徒歩での散策を終えて車に乗って「飛ぶ鳥農場」へと向かった。夫婦 2 人で経営しているそうだ。お二人共厚田に移住をして来たらしい。養鶏と養蜂をしているそうだ。たくさんの動物がいてとてもわくわくするような場所であった。鳥嫌いの僕はたくさんのニワトリやガチョウがいるところはとても怖くて震えていた。自分が就労に入る時が少し不安である。旦那さんが帰りに「鳥好きになろうな」と言ってくださって頑張ろうと思った。だが、怖い物は怖いのだ。 ありす cafe へと向かう道中で石狩の歴史や地名の由来などについて説明をしていただいた。ありす cafe の店主から店へのこだわりや、やりたいことなどについてお話ししていただいた。厚田の土や素材を使って陶器を作ることに関心していると聞いて感銘を受けた。 その後シーグラス集めをして、焼き肉を食べた。			

午後は厚田支所でミーティングをした。議論が白熱しすぎてしまって本題を逸れてしまって意味の無い議論になってしまった。しかし、次からの注意点などについてみんなで話し合うことが出来たのでとても良かった。

最後にカントリーキッチンアンにて歓迎会をしていただいた。たくさんの方とお話しする機会を設けていただけてとても貴重な時間になった。インターン頑張ろうと思え、インターン生全員の意思と絆が強くなり良い日になった。明日からまた頑張ろうと思う。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月5日(火)

活動者氏名	木村壮吾		
行動録 (いつ・どこで・誰と)	昼頃から札幌周辺でインターン生全員		
活動場所			
・札幌周辺 ・二条市場 ・白い恋人パーク			
活動内容(詳細)			
観光			
活動・生活所感			
昼ご飯を食べに札幌のラーメン「すみれ」に行った。しかし営業時間外で断念することになった。その後は二条市場へと向かった。みんなで生牡蠣を食べた。みんなで美味しい物を食べることが出来て幸せだった。 その後は、白い恋人パークへと向かった。思っていたよりも、ものすごい物であった。某夢の国に似ている物を感じた。アトラクション感があるものでとてもワクワクするような施設であった。みんなでたくさん写真を撮ったりして思い出がたくさん出来た。 帰りはみんなでバスに揺られながら宿へと戻ってきた。夏バテ気味で少し食欲が無かったが、鰻が出てきてとても元気が出てきた。昨日は話し合いが言い合いとなってしてしまったが仲間達と思い出が作れてとても良かった。明日からの就労も頑張ろうと思う。			
			

地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月6日(水)

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00~15:00 菅原農園で江口詩葉と		
活動場所			
・菅原農園			
活動内容(詳細)			
・農作業のお手伝い			
活動・生活所感			
はじめに、道の駅石狩「あいロード厚田」へ野菜を運びに行くお手伝いをした。営業する前の、道の駅へと入るのは初めてだったので、貴重な経験であった。道の駅の朝はとても忙しく、たくさんの人たちが働いていた。忙しい中で全員が交流とリスペクトを持って働いているのを見て和やかな気持ちになった。 次にいちごの選別のやり方について教わり、実際に体験させていただいた。夏に出来るいちごで「四季成りいちご」という品種らしい。北海道の夏は涼しいからという理由で始まったそうだ。いちごの選別はとても難しくて素人には出来ないような仕事であった。一定の教育を受けてからでないと実践は難しいのかなと考えた。 そして、トウモロコシのおしべを切る作業をさせていただいた。おしべのところに希にトウモロコシを食べる虫がいるのでそれを見つける作業が大変であったが、貴重な経験でとても楽しかった。 休憩にお昼ご飯をいただいた。農園で育てているトウモロコシ、いちごなどもごちそうになった。どの作物も新鮮でとても美味しかった。たくさんの調味料を出していただいて味変をしながら美味しくいただいた。 最後に雑草に除草剤を撒く作業をさせていただいた。20Lの重さを背負いながら歩き続けるのはとても重たく大変だなと思った。農家さんはそれより重いものを背負いながらやっているらしいのですごいなと感銘を受けた。 最初から最後までたくさんお話をしてくださった。厚田の課題だと思う点や、自分たちがしたいことから雑談まで親身に聞いてくださった。またさらに頑張ろうと思える一日になった。ご自宅の食事に招待していただいたので、とても楽しみだ!!!			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月7日（木）

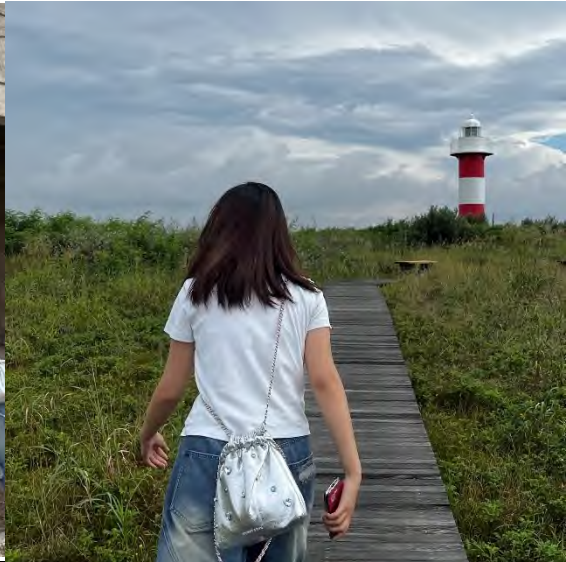
活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	朝から石狩市内をインターン生と市役所の方と		
活動場所			
・ 海 ・ 砂丘の風資料館 ・ 灯台 ・ はまなすの丘公園 ・ ライジングサン・ロック・フェスティバル ・ 恋人の聖地 ・ 菅原家			
活動内容（詳細）			
・ 休日 ・ 市内探検			
活動・生活所感			
朝からインターン生全員で海へと向かった。あいにくの曇り空であったが海に入ってみんなで遊んだ。相撲や水風船なども行った。 昼ご飯は八幡二でお客さんとしていただいた。ずっと食べてみたいと思っていた浜ラーメンを食べることが出来た。海に入った後に食べる海鮮系のラーメンは格別であった。 市役所の方が迎えに来てくれて市内見学へと向かった。はじめに、「いしかり砂丘の風資料館」へと向かった。石狩市の歴史について詳しくお話していただいた。 はまなすの丘公園へと向かいソフトクリームを食べ、灯台へと向かった。とても美味しいソフトクリームであった。灯台の周辺の道がとてもおしゃれで写真映えするなと思った。みんなで少し走ってみたりもした。 ライジングサン・ロック・フェスティバルの設営途中の会場へと向かった。観客の誰もいないフェス会場はとても新鮮で楽しかった。好きなアーティストが出るので今年のフェスも行きたかった。来年は絶対に行きたいと思う。貴重な経験をさせていただいた。 最後に道の駅の上にある「恋人の聖地」へと向かった。とてもきれいなところであった。遺跡のような雰囲気と恋愛というモチーフが素晴らしくあって			

いると思った。海と山を近くで見ることができた。とても気に入った場所なので、たくさんの人にも見てほしいなと思った。海に後光が差していて感動するほどきれいであった。良いことがおこるといいな。

帰宅後にインターンの発表に向けたそれぞれの発表会を 4 人で行った。みんなで言いたいこと整理し、話し合う時間はとても有意義なものだった。また、何か良い物が出来るのではないかなとワクワクした。自分には無い意見をみんな持っていてとても楽しい。この 4 人で自分たちにしか出来ないことをしたい。

昨日お世話になった菅原農園さんのご自宅でご飯をいただいた。お子さんが自分たちと同じ年くらいで、小さいときに見ていたテレビの話などで盛り上がった。自分たちの厚田への思いなど聞いていただいて「頑張って！期待している！」という声をかけていただいて本当に頑張ろうと思った。もし挫折そうになっても今日の言葉を思い出そうと思う。たくさんごちそうしていただいて幸せだった。とても良い時間を過ごせた。

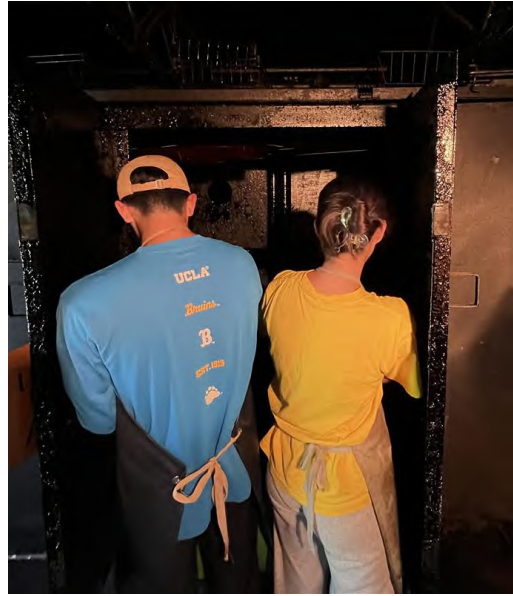
インターン生全員で歩きながら喋る時間が好きだ。この仲間と出会えて良かったし、なにか 1 つのことに向かって頑張ることが出来て嬉しい。厚田に来て 1 週間。時間が過ぎるのは早い。また明日からみんなで頑張っていきたい。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月8日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	7:00～10:30 加藤水産 江口詩葉さん 13:00～15:00 厚田くんせい インターン全員と		
活動場所			
・加藤水産 ・厚田くんせい ・石狩北商工会			
活動内容（詳細）			
・市場での売り子 ・魚を捌く、燻す ・打ち合わせ			
活動・生活所感			
朝が早くて少し寝坊してしまった。急いで身支度をして加藤水産さんへと向かった。遅刻はしなかった。雨だったのでお客さんは少ないのかなと予想していた。しかし、予想よりも朝市に来ていて驚いた。基本的には皆さん冷凍の商品ではなく生もの、特に雲丹を求めて来ていた。しかし、秋の鮭漁に向けて生ものは出さないらしい。朝市を盛り上げるには、生食や浜焼きなどの工夫をしないとより盛り上がるのかなと考えた。しかし、誰が炭を起すかなどの課題もあると考えた。 仕事内容としてはお客さんが来たときの対応と、商品の袋詰めなどを行った。他にはビニール袋にシールを貼る作業を行った。 その後は厚田くんせいさんへと向かった。厚田くんせいでは魚を捌いたり、燻す作業をさせていただいた。我々のためにやることを残してくださっていた。短い時間ではあったがとても楽しかった。 最後に石狩北商工会へ行きミーティングを行った。前回のミーティングでは、議論が白熱しすぎてまとまらなかったが、今回は実のある話が出来て基本的な方針が決まったのが良かった。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 9 日（土）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	7:30~17:00 厚田海浜プールで 野寄天斗さんと		
活動場所			
厚田海浜プール			
活動内容（詳細）			
・駐車料金の徴収 ・シャワールームの清掃 ・トイレ清掃			
活動・生活所感			
今日は朝から海浜プールへと向かった。駐車料金の徴収の仕方を教えていただいて実際に駐車料金を徴収した。海浜プールの駐車場と朝市の駐車場が分かりづらくて何人も U ターンしていくのが印象的だった。海浜プールの駐車場が分かりづらいのではなく、朝市の駐車場のほうが、はるかにわかりにくく、それが課題だと感じた。 昼ご飯休憩をもらって駐車料金徴収に戻るとほとんど車は来なくなっていた。そんな中でも 14 時頃は少し来ている印象であった。 料金徴収が終わった後はシャワールームの清掃のやり方を教わり、実際に行った。 最後はトイレ掃除を行い今日の就労は終了した。 就労後に体力が余っていたので野寄さんとサイクリングをしに行った。道の駅の坂を上った奥の方には行ったことが無かったので、自転車で行ってみた。とてもきれいな道で感動した。往復 8 キロ位漕いだが全く疲れを感じさせないほどのきれいな道であった。今日はあまり疲れなかったが明日も就労のため頑張っていこうと思う。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 10 日（日）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	7:30～17:00 で厚田海浜プールに 1 人で		
活動場所			
厚田海浜プール			
活動内容（詳細）			
・ 駐車料金徴収 ・ シャワールの受付・清掃			
活動・生活所感			
今日は昨日と同じく海浜プールへの就労であった。最初に駐車料金徴収の立ち位置に着いて開始した。業務内容は昨日と同じであった。車が来たら、海浜プールで合っているかを確認し、合っていたら駐車料金をいただき領収書を出すという業務である。昨日から一貫していることは、朝市とプールの駐車場が分かりづらく、間違えて入ってしまい U ターンさせてしまうことが多々あった。有料と無料である差も影響しているのかなと考えた。 昼休憩の後にシャワールームの清掃と車の誘導を行った。シャワールームは 2 室しか無かったため、かなり混み合っていた。受付と清掃と対応といったシャワーに関する業務をすべて一人で行った。たくさんの人が来てかなり疲労した。最後にトイレ清掃を行って業務を終えた。 就労後はライフセーバーの方たちに BBQ に招待していただいた。私たちのため鹿肉を用意していただいた。初めて食べた鹿肉はとてもおいしかった。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月11日(月)

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00~17:00 キャンプ場受付		
活動場所			
キャンプ場			
活動内容(詳細)			
・キャンプ場受付 ・ごみ拾い ・シャワールーム清掃 ・トイレ掃除			
活動・生活所感			
最初にシャワールームの清掃から始まった。その後トイレ清掃をした。キャンプ場の開場を待機してアーリーで予約されている方の受付をした。業務内容としてはキャンプ場内のマップの説明と禁止事項を説明することである。今日は三連休の最終日にも関わらず30組ほどのお客様が来られた。 今日はジップラインがとても盛り上がっていた。天気も良く景色がよかったので売り上げがよかったのかなと考えた。 キャンプ場内のごみを拾いに出た。ほとんどごみは落ちておらずモラル意識の高さを感じた。しかし、1か所に貝殻のごみが落ちていて残念な気持ちになった。貝殻はどのごみの部類に属すのかがわからなかった。 昼休憩はモルックをして遊んだ。以前よりも上手くなっていたように感じた。 キャンプの受付はあまり辛いものではなかったが、とても貴重な経験になった。 就労後は海に行ってバスケットをしに行った。すると、女子の二人がsupをしていたので一緒にやらせてもらった。とても楽しかった。 明日の休日を楽しみたい！			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月12日（火）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	厚田でインターン生のみんなで休日満喫旅		
活動場所			
・前浜 ・川 ・海			
活動内容（詳細）			
休日満喫しました			
活動・生活所感			
朝は鳥の鳴き声で目覚めた。昼ご飯は以前からみんなで食べたいと言っていた「前浜」というご飯屋さんへ向かった。開店と同時に行ったがすでに満席で待つことになってしまった。しばらくすると、呼ばれて2階の席へと通された。海の見える席で景色がよかった。おすすめされていた「たこのかき揚げ天丼」を頼んだ。とても多いから1人で食べきれないかもと言われていたので少し心配であった。しかし、ぺろりと食べきることができた。食後にはソフトクリームを食べた。 一度、宿へ戻り昼寝をした。その後は予定していた川遊びとスイカ割りがあったが、ぐっすりと寝ていたので、行くのを躊躇してしまった。でも、約束を守るため行くことにした。場所に行くと虫もたくさんいて足場も悪かったため、キャンプ場の方に許可を取りキャンプ場でスイカ割りをすることになった。移動中に僕がスイカを落として割ってしまうというハプニングもあったが、スイカ割りが始まるととても楽しい時間が流れた。 一日の締めめに海へ向かいみんなで入った。 宿に帰り宿主のご飯を食べた。本当に八幡二のご飯は天才だ。東京に来てほしい。今日は味噌ラーメンだった。革命だ。1日の疲れがこの一杯で吹き飛んだ。本当においしかった。ご馳走様。それにしてもこのまちはいいまちだ。 今日は深夜に流星群があると聞きみんなで起きて行こうと言っていた。しかし、誰も起こさずに1人で丘へと向かった。行ってみると実際に流星群を見ることができた。朝焼けを見ながら宿に帰った。明日はいい日になると確信した。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月13日（水）

活動者氏名	木村壮吾	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	8:00～16:30 道の駅でインターン生と	
活動場所		
・道の駅石狩「あいろーど厚田」		
活動内容（詳細）		
・店頭販売		
活動・生活所感		
道の駅でとうきび、飲み物、カットメロンを販売した。最初にとうきびを剥く作業を任された。茎を取る作業はなかなか難しく、慣れるまで時間がかかった。きれいに剥くことができるようになってとてもうれしい気持ちになった。 大きな声を出してお客さんと呼び込む業務はとても難しく感じた。暑い中で日差しに耐えながら声を出すのはとてもつらかった。それでも、買ってくれる方がいると元気になって、もう一度頑張ることができた。厚田で取れた食材をたくさんの人に食べてほしいという一心で頑張った。それでも何度か心が折れてしまうことがあるくらいには暑くてしんどかった。 昼ごはんには望来豚をいただいた。脂が甘くてとてもおいしかった。職員の方とバスケの話をしながら食べることができて少し元気になった。 とうきびとカットメロンを売り切るのを目標とした。厳しいなと思って、くじけていた時に、カットメロンをすべて買い切ってくれた上にリンゴサイダーをごちそうしてくれた方が現れた。本当に心も体も救ってくれた。いつか自分もこんな人になりたいし、その人には絶対にいいことが起きてほしいと心から思った。最終的にはとうきびも売り切ることができた。 物を作るということに携わってきた北海道インターンであったが、物売る難しさを知った一日であった。		



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月14日（木）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00~16:00 飛ぶ鳥農場で 江口 詩葉と		
活動場所			
・飛ぶ鳥農場			
活動内容（詳細）			
・ジャガイモ堀り ・ミツバチをスズメバチから守る網づくり ・鶏のエサやり			
活動・生活所感			
ついに今日という日がやってきてしまった。私は鳥が大嫌いだ。もう片方のチームが先に飛ぶ鳥農場に行ったとき鶏の卵回収をさせてもらって、鶏にけられたりして大変だったと聞いていたので本当に嫌であった。しかし、今日はジャガイモ堀りだと聞いてとても心が躍った。ジャガイモ堀りは想像していたよりも難しかった。暑い中ずっと外での作業で体力を削られ、低い姿勢での作業のため体が痛くなる。農作業の大変さを実感した。全てのジャガイモを掘り返して畑に雑草などがない土だけの空間になった時は達成感がすごく、嬉しかった。 昼休憩では採れたての卵をごちそうになった。黄身の部分が白くてとても驚いた。どの料理もすごく美味しくて感動した。 蜂の巣を守る網を作らせていただいた。穴が無いか、隙間がないかといった神経を使う作業は大変であった。徐々になれてきて上手に作ることが出来た。 これで就労は終わりかと思われたが、最後二ワトリに餌をあげる作業を提案された。もちろんやりたくは無かったが、やることになった。恐怖心と戦いながら無数の鳥がいるゲージの中に入り餌を撒いた。そして巻き終わったらすぐに出た。やりきった。いつも食べている対象が生きている空間はなんだか不思議だったし、複雑な気持ちになった。命の尊さについて改めて実感する機会となった。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 15 日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	7:00～23:00 まで ドライブ 現地の大学生の先輩と インターン生のみんな		
活動場所			
・富田ファーム ・青い池 ・白髭の滝 ・温泉			
活動内容（詳細）			
・休日ドライブ			
活動・生活所感			
朝早くから、先輩が宿まで車で迎えに来てくれた。青い池へ向かっている道中のコンビニで先輩にワンピースの 1 番くじをプレゼントした。2 回でまさかの A 賞を当てた。良い朝の始まりだった。 寄り道をして富田ファームというラベンダー畑へと向かった。上の方までリフトに乗って行くことの出来る場所であった。上の方から壮大な景色が見えると期待していたのだが、ラベンダーが全て枯れてしまっていた。しかし上の方から見える町並みはとてもきれいであった。 青い池に着いた時は曇っていた。青い池は晴れている時に青く見えるらしくとても残念であった。雨まで降ってきてとても気分が落ち込んでいたその時、女神が現れた。その名は江口詩葉さん。彼女が空に指をかざした瞬間、上空にあった雲がみるみると無くなっていった。嘘だと思われるだろうがこれは本当の話だ。晴れた空の下に反射する青い池はとてもきれいであった。彼女を讃えよう。ありがとう。 昼ご飯は豚丼を食べた。とても美味しい豚だった。 白髭の滝は川が青くなっていて初めて見るような滝でとても感動した。 温泉は北海道に来てからの初めて湯船でとても気持ち良かった。男同士で楽しい話をした。 帰りの車では、みんなで過去について話した。みんなのことについて知ることが出来てとても嬉しかった。ずっと運転をしてくれた先輩にはとても感謝			

である。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月16日（土）

活動者氏名	木村壮吾	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～17:00 まで キャンプ場で 野寄天斗さんと	
活動場所		
・キャンプ場		
活動内容（詳細）		
・トイレ清掃 ・キャンプ場の案内		
活動・生活所感		
到着してからすぐにトイレ掃除をした。想像しているよりも大変であったため、清掃している方への敬意が芽生えた。 その後はキャンプ場内の案内をする業務をした。前にも同じ業務をしたため、より丁寧かつ詳しく出来るよう努めた。 帰宅途中に自転車で転倒してしまい怪我を負ってしまった。昨日遊んだ先輩が車で宿まで送ってくれた。何カ所も擦り傷ができて、打撲も出来ていた。とても痛かった。厚田産業の社長さんが治療キッドを持ってきてくれて応急処置を行った。 しばらく休んで約束していた菅原農園さんが PTA 会長を務めている厚田学園のレクリエーションへと向かった。お化け屋敷のお化け役として参加した。みんなが怖がってくれていてやりがいがあった。現地の子供たちと交流することが出来てとても楽しかった。 最後にお肉を焼いていただいた。とても美味しいお肉をいただいた。美味しかった。全身が痛かったがとても楽しい一日だった。		



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月17日（日）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	宿で 1人で		
活動場所			
・八幡二			
活動内容（詳細）			
・作業			
活動・生活所感			
手を痛めてしまったため昨日は就労には行かずに八幡二で作業をしていた。マルチワークに関する法律をひたすら読んでいた。堅苦しい文章をずっと読んでいて疲れしまった。それを踏まえてマルチワークに関する発表の前準備をひたすらしていた。 夜は八幡二の親戚の誕生日会に参加させてもらった。地元の方との交流を深めることができとても嬉しかった。 今日は一歩も外へ出ていないため写真も何も書くことがない。			

地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月18日（月）

活動者氏名	木村壮吾	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	作業	
活動場所		
・八幡二 ・病院		
活動内容（詳細）		
・作業 ・会議 ・診察		
活動・生活所感		
朝起きてからマルチワークについて話し合った。その後は八幡二で昼ご飯を食べた。 手が痛すぎて市役所の方に病院受診を頼んでいたため昼食後は車で病院に向かった。受付をしてから診察時間までかなり時間があったので、市役所の方が港を見せに少し車を運転してくださった。最近見ていた海とは違って工業地帯のような海だった。海の上に浮かぶ風力発電機もあった。珍しいものを見ることが出来て嬉しかった。 レントゲンの結果骨に異常は無く、軽傷だったようだ。病院に行くためにも車を小一時間走らせなくてはならない立地の悪さはやはり地域の課題だと感じた。車の中ではかなり有意義な話しが出来た。 帰宅後は、発表会に向け作業を進めた。道筋や中身について考えを深めることが出来た。夕食後は全員で話し合いをして、発表内容の共有をした。お互いに思っていることの共有ができてとても良い時間であった。 その後は、みんなでトランプなどの遊びをして束の間の時間を過ごした。		



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月19日（火）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～16:00 Cocoro dairyfarm で インターン生 みんなと		
活動場所			
Cocoro dairyfarm			
活動内容（詳細）			
• 牛の散歩 • 柵作り • 糞拾い			
活動・生活所感			
着いてから少し自己紹介などをしてアイスブレイクを行った。 その後は、牛と触れあった。ジャージー牛という種類の牛であった。白と黒の牛では無く、茶色の牛であった。顔がとてもかわいく、まだ生後 4 ヶ月ほどの小さい牛は細くて鹿のような見た目をしていた。牛はかなり臆病でなかなか触らせてもらえなかった。 しばらくして、牛の散歩をした。犬の散歩はしたことがあるが、牛の散歩はしたことがない人がほとんどだろう。牛のフィジカルはとても強かった。とても自分が引っ張る側にはなれない。まるで自分が散歩させられているような感覚になった。牛は見ている方向にしか進むことが出来ないらしく、方向転換したいときは頭を行きたい方向に動かすことが必要らしい。だんだんと慣れて、散歩することができた。前に進ませるときは尻を押して誘導してやるらしい。 散歩が終わった後は、柵作りを行った。単管というパイプを地面にハンマーで突き刺すという作業をさせていただいた。とても力のいる作業で午前の時点で手が痛くなった。市役所の方も数名来ていてこの疲労感だったので家族経営されていることの大変さを感じた。 昼休憩には、カレーを出してくださった。とても美味しかった。牛乳やスイカもいただいた。 休憩後は柵作りの続きを行った。柵の横格子の部分を作る作業だ。高さが均一になるように同じ高さにクランプを設置して単管を置き固定するという業務内容だ。同じ高さにするのが難しかった。こちらも体力と力のいる			

作業でとても大変であった。最終的にはかなりの範囲の柵の基盤を作ることが出来た。市役所の方達と牧場の方達と共に作り上げたという達成感でとても嬉しい気持ちになった。

柵作りの後は土の肥料となる牛の糞を拾う作業をした。

最後に牧場の主人がギターを弾いてくださってみんなで歌を歌った。「チェリー」、「若者のすべて」を歌った。広大な牧場に座り、牛たちに見守られながら共に仕事を終えた仲間達と歌を歌う時間は格別であった。大自然のカラオケは胸打たれるものがあった。

星がきれいに見えるという情報があったのでみんなで見に行った。最高にきれいだった。厚田で見る星は本当にきれいだ。感動する。流れ星に「良いことがありますように」と言った。きっと良いことがあると思う。





地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 20 日（水）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～12:00 北商工会 13:00～20:00 灯籠流し手伝い インターン生全員と市役所の方		
活動場所			
・北商工会 ・祭り会場			
活動内容（詳細）			
・ミーティング ・出店のお手伝い			
活動・生活所感			
北商工会にて成果物に関するミーティングをした。共同で同じ物を作るという難しさにいつも思い知らされる。本当に良い経験だ。きっと社会に出たらざらにあることなのだろう。余裕を持って接する広い心をもっと育てていきたい。しかし、良い物を作りたいという気持ちがいつも先行する。絶対に良い報告会をしてみせる。 昼ご飯後は灯籠流しのお手伝いへと向かった。15 時までは待機だったが、15 時を超えるとだんだんと忙しくなってきた。子供向けの射的と輪投げの出店を担当した。まだ金額の計算も出来ないくらいの小さい子が一人できて受付をすることが多くとても大変であった。バイトで接客の経験はあるが、完全に子供だけという経験は無かった。ルールや景品の制度の説明も、上手く伝わらないことが多かった。子供を相手にする職業は本当に大変だし自分には向いていないなと痛感した。 祭りには今まで就労先で受け入れていただいた方や、この土地でお世話になった方々が勢揃いのオールスターで最終回のような雰囲気を感じた。ここでの生活も、もう少しで終わってしまうのだという寂しさが胸を襲った。江口さんは少し泣いていた。この子の涙は本当にきれいだ。このまますすくと育ててほしい。 18 時で 1 度切り上げて灯籠流しを見学させていただいた。このイベントはとても楽しみにしていたものの 1 つだ。風が強く悪天候で波がとても荒かった。地元の漁師の方達を筆頭に灯籠を流していたが、すぐに戻されてしまったり火が消えてしまったりしていた。それでも、波に乗って奥に行っている灯籠			

や海に浮かんでいる灯籠はとてもきれいで幻想的であった。1つ灯籠を流させていただいた。デニムを履いていたが、とても濡れてしまった。しかし貴重な経験をさせていただいて本当に嬉しかった。祭り会場に帰るまでの道中の何気ない楽しい会話も後少して終わると思うと悲しい気持ちになった。

祭り会場に戻ると、雨が降ってきてしまってすぐに撤収を始めた。会場の片付けは漁師さんが率先して動いてくれていてすぐに終わった。お手伝いを受け入れてくださった方の娘さんが運営している子供スナックでTシャツを購入した。とてもかわいいので東京に帰っても着ようと思う。景品のキーホルダーを最後にいただいた。バックにつけて大切にしようと思う。

最後に運営メンバーで盆踊りをした。とても楽しかった。最終回のような雰囲気明日東京に帰るのではないかと錯覚するような一日だったが、明日からは作業づくりの生活になることに絶望する。明日から気持ちを入れ替えて頑張っていこうと思う。





地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 21 日（木）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～17:00 北商工会で インター ン生全員と市役所の方と		
活動場所			
・北商工会			
活動内容（詳細）			
・成果物作成 ・報告会パワポ作り ・バスケ			
活動・生活所感			
午前中は成果物である「就労ガイドブック」を進めた。初めて使うアプリでなかなか慣れずにかなり手こずってしまった。それぞれの就労先の情報や良さを伝えることが出来るように努めていきたい。 昼ご飯は八幡二に食べに来た。味噌ラーメンと小ライスを注文した。八幡二の味噌ラーメンは本当に美味しい。今日のラーメンも最高に美味しかった。飯寿司もサービスで出してくださった。お寿司なのかと思っていたが、魚の漬物のような物であった。小ライスはサービスしてくれた。この店にいつか大金を落としに来ようと思う。 午後は報告会でそれぞれが担当している部分の資料作りを進めた。自分は「マルチワークの提案」と「東京での厚田フェス」を担当している。企画書を作成するのは人生で初めてでとても難しい。しかし、だんだんと形になり始めてきたので明日からも頑張っていきたい。 帰宅後は夕飯を食べて、厚田学園へと向かった。厚田に来てからずっとバスケがしたくて体育館を探していたのだが、厚田学園の体育館を管理をしており、貸していただけることになった。厚田支所の普段お世話になっている方々や、その息子さんなども集まり、みんなでバスケをすることが出来た。とても楽しかった。みんなで運動することが出来て嬉しかった。今日はとても良い一日だった。貸していただけたことに感謝したい。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 22 日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9:00～17:00 北商工会で インタ ーン生全員		
活動場所			
・北商工会			
活動内容（詳細）			
・作業			
活動・生活所感			
今日は主に「就労ガイドブック」の作業をした。今日の活動時間で中身をほぼ完成させることが出来た。帰宅後に、表紙や細かいところも完成させることが出来たので 8 割ほど完成した。このような物は作るのが初めてで、実際に印刷されて手元に来たらものすごく感動するのだろうと考えた。 昼ご飯は、「カントリーキッチン・アン」に行った。ずっと行きたいと思っていたのでやっと思って行けてとても良かった。ご飯はとてもボリュームがあって、すごく美味しかった。アンのママとたくさんお話をすることが出来た。ゆっくりと時間が流れている幸せな空間だった。ものすごく落ち着いてリラックスできるととても良いご飯屋さんだ。地元にあったら通いたい。食後にはシュークリームとコーヒーを出してくださった。とても幸せだった。シュークリームのきれいな食べ方をママが教えてくれた。これから東京に帰ってもこっちの1か月で得た知識を思い出すのだろうなとふと思った。これからシュークリームを食べるときはママのことをきっと思い出す。それは素敵なことだと思った。幸せな気持ちになれた昼休憩だった。 就労後は八幡二主人の実家の農家に行かせていただいた。プチトマトを収穫させていただいた。とても簡単に取ることが出来た。途中から取るのが苦になるくらいたくさんのトマトがあった。あまり出来ることのない貴重な経験			



を さ せ て い だ い た 。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和 7 年 8 月 23 日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	朝から野寄天斗さんと		
活動場所			
・支笏湖 ・洞爺湖 ・登別温泉 ・旭山公園			
活動内容（詳細）			
・休日満喫！！			
活動・生活所感			
今日は男二人旅を計画していた。ずっと車に乗りたいと思っていたが、なかなか借りるのはハードルが高かった。ずっと借りられないでいたが遂にレンタカーを借りることが出来た。雨予報で朝から少し降っていたが、借りる頃にはもう止んでいてとても良い天気だった。神に好かれているようだ。 最初は函館を目的地にしていたが、さすがに無理があると判断し、登別を目指すことにした。北海道の道は本当に気持ちがいい。道も広く、あまり混雑もしておらず、海や山を見ながら走ることが出来るので爽快感がある。 登別までの道中に、支笏湖という湖があったので少し立ち寄ってみた。透明度がすごく、壮大な眺めであった。SUP をする人で賑わっていた。いつかはここに SUP をしに来ようと決めた。道中はたくさんの動物を見ることが出来る。狐や鹿を両サイドに構え、リアルサファリパーク状態であった。 登別を目指していたが、洞爺湖という湖をマップで発見し、少し遠回りにはなるが行くことにした。とても大きな湖で、真ん中に山がそびえ立っていた。有名な場所で湖の中に線路があった。幻想的な景色が広がっていた。とてもきれいで感動した。1 度車に戻った後、やはりもう一度見たくなって、車から出るくらい素敵だった。 登別は地獄谷といわれているところから観光を始めた。壮大な眺めであった。箱根にも同じような物があるが、スケールが違う。すごく感動した。ただえさえ天気良く気温も高かったが、源泉の近くは蒸気ですごく暑かった。地獄谷を見終えた後は温泉に入った。朝早くから行動していたのと、今までの就労や作業の影響で疲れも溜まっていたが、一瞬で吹き飛ばすくらい気持ち良か			

った。自分は心底日本人なのだと思わされる。源泉は白く濁っていた。とても効能がありそうな見た目をしている。仮眠を取ったりしてゆっくりした。

休憩をした後に名残惜しさもあったが、藻岩山の展望台に行きたかったのが時間の都合上登別を後にした。

藻岩山は霧がかかっていると言われたので、旭山公園へと向かった。北海道の夜景を見ることが出来て嬉しかった。最後にラーメンを食べて帰宅した。途中、カシオペアの丘によって星を見た。この星空を東京に帰ったらしばらく見られなくなると考えるだけで悲しい気持ちになる。残り少しの北海道生活。悔いの無いようにこの目に景色を刻んで帰りたい。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

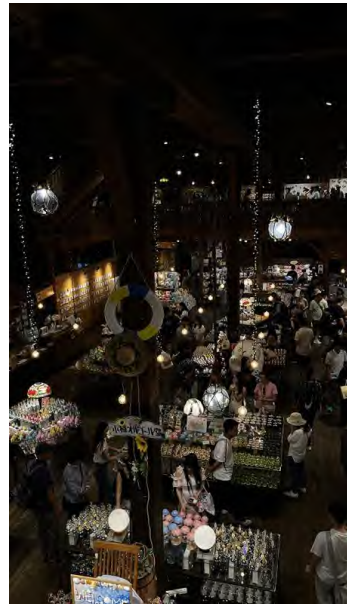
令和 7 年 8 月 24 日（日）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	野寄天斗と小樽で		
活動場所			
・小樽 ・藻岩山			
活動内容（詳細）			
・休日！！			
活動・生活所感			
今日も男二人旅である。ずっと四人で生活して休日も共にしてきたからこそ、たまに男二人で行動するのがより楽しく感じる。11 時過ぎくらいから小樽を目指した。かなり観光客で賑わっていて、北海道に来てから 1 番人の数を確認できた。小樽運河の周りは商人たちの陰が漂っているような雰囲気と歴史を感じることが出来た。 最初に三角市場を目指した。歩くのが嫌になるくらい暑かった。2 人ともタンクトップを着て行動していたため少し恥ずかしかった。道中で線路内を歩けるところを発見し写真を撮った。三角市場ではほとんど何もせずその場を後にした。 昼ご飯に寿司が食べたかったので、有名な回転寿司屋さんへ向かった。待ちが 30 組くらいいたので、受付をしてまちに繰り出した。ガラス細工屋さんがたくさんあった。1 軒ずつ回りたくなってしまいうくらいどのお店も魅力的であった。風鈴や置物のガラスなど全て魅力的であった。結果的にほとんどのお店に入りながら進んでオルゴール堂を目指した。オルゴール堂はたくさんのオルゴールが置いてありとても感動的な眺めであった。また、アンティークな感じですごくおしゃれだった。久石譲の summer のオルゴールを買ってこのインターンの思い出にしようかととても悩んだが寿司の時間が来たのでやめた。 小樽の海鮮はかなり期待していたが正直期待外れだった。本当に上手い海鮮はどこに行けば食べられるのだろうか。 昼食後は、ステンドグラス美術館へ行った。ずっと昔から行きたいと思っていたところに行けてとても嬉しかった。入場するとたくさんの色の光が出迎えてくれた。本当にきれいだった。これが何百年も前に作られ、今なお形を			

残していることに感動を覚えた。作り方なども展示してあってすごく勉強にもなった。

その後はもう一度商店街になっているところを回り、各々お土産を購入した。やはり、久石譲の summer オルゴールを買うことにした。きっと一生の思い出になるのだろう。小樽はすごく好きなまちだった。いつかまた訪れようと思い小樽を後にした。

昨日登れなかった藻岩山にリベンジした。本当にきれいな夜景だった。打ち上げ花火も遠くだが確認することが出来て嬉しかった。この2日間本当に楽しくリフレッシュすることが出来た。明日からの作業は気持ちを切り替えて頑張っていこうと思う。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

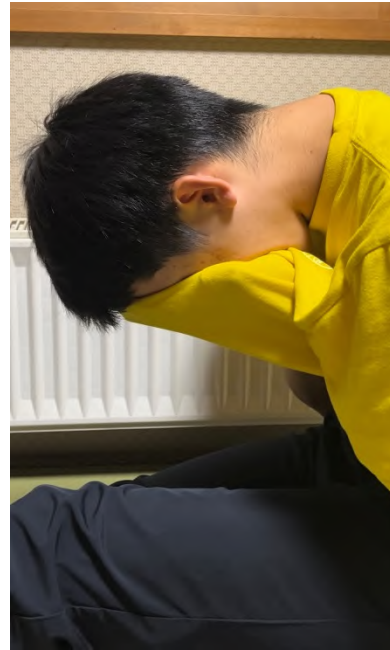
令和7年8月25日（月）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	一日、石狩北商工会 インターン生全員、市役所の方		
活動場所			
・石狩北商工会			
活動内容（詳細）			
・作業			
活動・生活所感			
今日も朝から作業を行った。自分が担当している「東京での厚田フェス」についての予算などの、より具体的なところを詰めていった。 予算案や具体的な企画概要をまとめる作業は初めての経験で本当に難しく感じた。しかし、市役所の方が親身になってサポートをしてくれていたため、企画を考えた後の進め方の順序といったことを学ぶことが出来た。東京に帰ってからもこのスキルはずっと使えるものであると確信し、さらにスキルを磨いて発揮できるようにしたいと思った。 お昼ご飯は八幡二の味噌ラーメンを食べた。本当に美味しい。八幡二ラーメン店を是非東京に構えてほしいと本気で思ってしまうほど美味しい。今日も小ライスサービスをしてもらった。美味しいご飯が毎日食べられて幸せである。 昼ご飯後は、僕と市役所の方2人で飛ぶ鳥農場さんへ「東京での厚田フェス」に卵を使わせていただけないかという話をしに行った。B品を使わせていただけることになった。就労受け入れ先でお世話になった方と津軽海峡を越えて共に同じイベントができるというのはとても嬉しい気持ちである。 飛ぶ鳥農場から帰ってくると、そこには重い空気が流れていた。どうやらまた意見が衝突したようだ。出会って1カ月間共同生活をして同じ成果物を作るということの困難さにいつもぶつかる。最終的には市役所の方からの助言もあり丸く収まった。みんなで仲直りにアイスを食べた。 午後各自提案内容の詳細を詰めたり、パワーポイント作成に尽力した。 帰宅後は、八幡二の店主が提案内容に協力してくれることが確定し、レシピなども提供してもらい、「東京での厚田フェス」ではカレーを作ることにした。 夜ご飯は天丼が出てきた。パリパリの衣がとても美味しかった。個人的に1番美味しかった。八幡二の店主が唐辛子をニヤニヤした顔をして持ってきた。			

激辛チャレンジをしてみるかという提案だった。1人ずつ食べてリアクションしていた。野寄さんは1本丸々食べていた。とても苦しそうであった。女子は少し食べていた。僕も1本丸々食べた。舌が痺れて本当につらかった。たくさん笑った。みんなでこんなこと出来るのが幸せである。こんな日常ももうすぐ終わってしまうと思うと悲しくなる。

明日は報告会のパワーポイントの提出日なので気を引き締めて頑張っていこうと思う。

唐辛子に苦しむ野寄さん→



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月26日（火）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	一日、石狩北商工会 インターン生全員、市役所の方		
活動場所			
・石狩北商工会			
活動内容（詳細）			
・作業			
活動・生活所感			
北海道に来てからもう 1 つ楽しみにしていることがある。それは、市役所の方が所属している社会人バスケットに、僕たちのことをいつか連れて行ってくれるとずっと言ってくれていたことだ。遂に今日連れて行ってくれることが確定した。本当に待ちわびていた。約 1 カ月間でできていなかった試合形式のバスケットが出来る日であった。 しかし、今日の 17 時までに報告会のパワーポイントが出来ていなかったら連れて行かないと言われた。脳がすり切れるくらい集中して作業をした。なんとか時間内に完成させることが出来て連れて行ってくれることが確定した。 遂に体育館に着き、約 1 カ月ぶりに試合形式のバスケットをすることが出来た。とても温かかく迎え入れてくださって楽しくバスケットをすることが出来た。スポーツの力はすごい。出身地も年齢も何一つだって共通点はないがスポーツを通して仲良くなることが出来る。とても楽しい時間だったのと同時に、この 1 ヶ月間でだいぶ体力が無くなっていることが判明した。八幡二のご飯が美味しくて肥えたことが原因かもしれない。東京に戻ったらたくさん運動しようと思う。 名残惜しかったが、体育館に別れを告げた。市役所の方がそのまま宿では無く温泉に連れて行ってくださった。メンズトークが開催され、とても楽しいひとときを過ごした。サウナにも入り完全にできあがった。 牛乳を片手に市役所の方の車で八幡二へと向かった。怪談話や、哲学的な話が車内で展開され帰り道も楽しく帰った。 宿に着き、市役所の方とも「また明日」と眠りについた。今日は本当に最高の一日であった。完璧な一日を噛みしめ、また明日も作業を頑張っていきたい。			



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月27日（水）

活動者氏名	木村壮吾	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	石狩北商工会	インターン生全員、市役所の方
活動場所		
・北商工会		
活動内容（詳細）		
・作業		
活動・生活所感		
朝、目が覚めると、バスケの疲れとサウナで完全に疲弊しきった体は布団の上ではなく畳の上にあった。どうやら寝相で転がっていたようだ。時刻は朝の6：30頃であった。女子が宿に帰っていないことを認識した。女子も昨日は夜、厚田でお世話になっている方で美瑛にも連れて行ってくれた先輩に温泉に連れて行ってもらっていた。女子が朝、宿にいないことを認識した僕は「朝までどこ遊びに行ってたよ。朝帰りかよ。」と脳内でつぶやいていた。しばらく無心で天井を見つめた後にスマホを見た。ロック画面に映る通知にまず異変を感じた。異変を確かめるべく慌ててLINEを確認した。そこには無数の通知や不在着信が入っていた。この時点でなにか大変なことが起きていることは認知した。どうやら女子が閉め出されたようだ。そして閉め出されていると言うことを認識したと同時に閉め出した犯人が自分たちであるということに気づいた。一瞬で血の気が引いていくのが分かった。僕は慌てて、隣で何も知らずにぐっすり寝ている野寄さんを起した。2人で状況を整理し、自分たちのしてしまったことを反省した。しかし、どちらも鍵を閉めた記憶が無く、1カ月の疲労が最悪な結果となって現れてしまった。 一旦落ち着いて、迷惑をかけた方々に謝罪のメッセージを送った。その後は直接謝りに回った。自分たちに罪を感じさせないように振る舞ってくださった。人格者が厚田には多い。本当にこんな人間になりたいなとより強く思われる日だった。とはいえ、自分たちの責任感のない行動がこのようなことを引き起こしてしまった。今後の人生でも気をつけていきたい。 気持ちを切り替えて作業に励んだ。僕はパワーポイント作成があまり得意ではないと思う。自分の提案箇所のパワーポイントを野寄さんの力も借りてかなりハイクオリティな物にすることができた。野寄さんとは大学も同じでインターン前から仲が良いのだが、こんな一面があったということを知れて		

とても嬉しい。友達として誇らしい気持ちである。

パワーポイントの作成が終了して、八幡二に帰り、楽しみにしていた海鮮丼を食べた。小樽で食べた海鮮より遙かに美味しく、「これが北海道だ！」と思い知らされるような海鮮丼であった。最高に美味しかった。4人で同じ卓を囲って食べる最後の夜ご飯であった。少し悲しい気持ちを胸に完食した。

夜ご飯後はみんなで、パワーポイントの改善点などを見つけることに励んだ。かなり夜遅くまで励んだ。厚田に来てから、夜更かしが苦手分野になった。1時頃には体力が尽き眠りについた。原稿作りも残り少しかったので、明日の朝早起きして頑張ろうと思う。



→畳に水をこぼし慌てて乾かす女子2人

地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月28日（木）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	石狩北商工会 インターン生全員、市役所の方		
活動場所			
・石狩北商工会 ・八幡二			
活動内容（詳細）			
・報告会 ・送別会			
活動・生活所感			
厚田に来てから朝日と共に起きる体ができあがっている。朝6:00頃に起きて、原稿作りをした。原稿作りはかなり得意分野なようですぐに終わった。何度も読み返して添削を行った。 石狩北商工会で、会場設営をしてリハーサルをした。緊張は無く、楽しみな感情しか無かった。みんな緊張した面持ちだったが、特に緊張している人を発見した。バスケットに連れて行ってくれた来てから1番お世話になっている市役所の方だ。朝からずっと落ち着きがない。昨日も心配で眠れなかったようだ。なんだか愛おしい気持ちになった。これだけ感情移入してくれている人のためにも絶対に成功させようという気持ちが強くなった。 八幡二で最後の昼ご飯を食べて本番に備えた。みんなで円陣などをして楽しく過ごした。このメンバーだから衝突することも多かったし、一筋縄では行かなかった1カ月だったが、円陣組んで笑い合っていたら、この4人で本当に良かったという気持ちになった。 だんだんと招待した方達がお見えになって高揚感が増してきた。自分たちの1カ月の成果をお世話になった方達に見てもらえると思うと興奮が収まらない。 時間となり、報告会が始まった。順調に発表が進んでいく中、とても緊張している人を発見した。朝からずっと落ち着きのない市役所の方である。発表の中で、電気をつける場面があるのだが、電気をつける担当をその方が担っていた。タイミングを逃さないように電気のスイッチに手を被せては、外し、報告会の資料のページをめくる姿は、とてもにこやかな気持ちになった。(その後、完璧なタイミングで電気をつけていました笑)			

満足のいく発表をすることが出来た。自分たちで作上げた資料、就労ガイドブックの資料を手に取りながらこの 1 カ月間頑張った本当に良かったと思う気持ちと、走りきったのだと感動した。

報告会の後は、初日に行ったビーチへとみんなで自転車を漕いで向かった。こうやってこの地を自転車で回ることにも最後なのだと思うととても悲しい気持ちになった。初日と同じように水切りをした。

八幡二に戻ると、たくさんのごちそうと、厚田オールスターが勢揃いしていた。送別会は本当に楽しかった。時間が止まってしまうと良いのと思った。この空間を閉じ込めて東京に持ち帰りたいと本気で思った。たくさん笑った。市役所の方がケーキを用意してくれていた。2 つあった。1 つには「祝 おつかれさま」と書かれていた。もう一方には「祝 なかよく」と書かれていた。おかしくて大笑いした。見たことのない文字の刻まれているケーキは面白い。この「なかよく」に僕たちの 1 カ月間が全て詰まっているなと思った。とても嬉しい気持ちになった。

明日からもう会えない方達に最後の別れを告げて握手やハグをした。名残惜しいが仕方ない。でも、また絶対にこの地に戻ってくると約束をした。絶対に会いに行く。

最後の夜だからなにかしようと思っていたが、みんな疲れて寝てしまった。最後の夜だからとか関係無しに早く寝るみんなが愛おしくて僕も眠りにつくことにした。



地域実践型インターンプロジェクト 活動報告書

令和7年8月29日（金）

活動者氏名	木村壮吾		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	インターン生全員、市役所の方		
活動場所			
・市役所			
活動内容（詳細）			
・市長への挨拶			
活動・生活所感			
いつもと同じ朝日だった。まるで別れを感じさせないかのような日常に溶けこんだ優しい光。しかし、今日はいつも通りとはいかない。東京に帰るのだ。 八幡二の夫婦に別れの言葉を述べた。江口さんがぼろ泣きしていた。自分が喋る番になり最初の方は順調に喋っていたのだが、だんだんと目が潤い始め涙があられ言葉が詰まった。やはり 1 カ月というのは長い。こんなにも人に対して感情を抱くのだから。八幡二を出るときには結局野寄さん以外の全員がぼろ泣きしていた。 厚田産業や支所にも別れを告げに回った。ここでも泣きそうになってしまった。涙腺が完全に崩壊してしまった。その後市役所を目指している車内でもボロボロと泣いてしまった。僕たちの中でスピッツの「優しいあの子」はこの 1 カ月を代表する曲だ。よくみんなで口ずさんでいた。厚田にはこの曲がぴったりだと思う。たくさんの優しいあの子に幸福がありますように。 たくさん泣いた後は、市長へ挨拶をした。とてもフランクで親しみやすい方であった。石狩はもっと良い町になるなと直感でそう思った。話の流れで、僕と野寄さんの持ちネタである「厚田あるある」を市長の前で披露することになった。あり得ないくらいスベった。その後市長から修了証をいただきこのインターンに終止符を打った。 市役所の方達とも涙の別れをして、空港へ向かった。1 番お世話になった市役所の方に札幌駅まで送ってもらった。札幌駅の前で厚田のロゴが入った真っ赤な T シャツを着たまま涙の別れをした。今思えば周りから見たらきっと異様な光景だっただろう。真っ赤な T シャツを着た若い 4 人が公道で黒い服を着た大人とハグをしながら 5 人全員が泣いているのだから。本当に最後の別れを終えて、新千歳空港へと向かった。 その際にもお世話になりっぱなしの、厚田のお兄さんが車で札幌駅から新			

千歳空港まで送ってくださった。泣き疲れのせいか車内で寝てしまった。

かなり時間があったので、みんなでゆっくりお土産などを見た。

僕と野寄さんが同じフライトで搭乗締め切りの三分前くらいになったので、搭乗ゲートへと向かった。ここで順調にいかないのが僕たちである。野寄さんも僕も手荷物の重量オーバーが発覚した。野崎さんに関しては 8kg 位オーバーしていて急いで配達の受付をしていた。しかし、僕は約 1kg オーバーで、もう少し手荷物を軽くしたら乗れると言われ、急いでリュックに入っていた飲み物などを取り出し、女子に預けた。それでも足りなかったので、リュックに入っていたタンクトップを重ね着したりヘッドホンに首にかけるなどの強硬手段によりなんとか重量セーフとなった。そのときにはもう時間がかなり無くなってしまい、慌ただしい別れとなってしまったが湿っぽい別れより笑ってバイバイをすることが出来て良かったと思う。

東京に着き、高すぎる気温と湿度に心を折られた。明日からこの地で生活していくのだ。すぐに厚田に帰りたくなった。

家についてまず、この生活中ずっとお守りのように付けていたみんなで作ったミサガを小樽で買った久石譲「summer」のオルゴールの中に入れ、思い出と記憶を閉じ込めた。このネジを巻けばいつでも 19 歳夏の厚田に帰ることが出来る。いつまでも大切にしていこうと思う。

本当にたくさんの方にお世話になった 8 月だった。そして自分自身も成長した 1 カ月間だった。最高の 4 人で最後まで走り切れたことを誇りに思う。

お世話になった全ての方に感謝と敬意を表す。

ではまた

